

第16回 関西多読指導者セミナー

主催：日本多読学会

日時：2023年2月23日(木) 10:00~17:35

【発表概要】

10:10-11:10 Plenary Speech

「Digital technology and its influence on language education」

Yuko Goto Butler (University of Pennsylvania)

As digital technology has spread, it is changing the way we communicate. Digital technology is also changing the way we teach and learn languages. Reading, for example, no longer refers to merely processing linguistic information through written texts, but also to engaging in a meaning-making process based on multimodal information. In the era of digital technology, how should we (re)conceptualize communicative language competencies that we want our students to develop? In this talk, I first examine how young people make use of technology for their daily communication and academic studies. I then discuss the communicative competency needed in an increasingly digitalized world. Digital technology can enhance our communicative abilities, but we must also consider what is needed for it to be used effectively in teaching and learning. I conclude this talk with suggestions for language teachers on how they may enable their students to develop such competencies.

「デジタル・テクノロジーと言語教育」

バトラー後藤裕子(ペンシルバニア大学)

デジタル・テクノロジーの普及は私たちのコミュニケーションのあり方を変え、また言語の指導や学習の方法も変えつつあります。例えば、「読み」は単に書かれた言語情報を処理するだけでなく、マルチモダルの情報から意味を構築する行為になってきています。この発表では、まず、子どもや若者たちが、日常生活の中でどのようにデジタル・テクノロジーを使っているのかを概観した後、デジタル時代に必要なコミュニケーション言語能力について考えたいと思います。デジタル・テクノロジーは、私たちのコミュニケーション能力を拡充する一方、有効に活用するには注意が必要です。最後に、学習者が必要なコミュニケーション言語能力を身に着けるのを助けるために、教師ができることを考えてみたいと思います。

11:30-12:10

「多読支援で大切にしていること」

鈴木祐子 (ABC4YOU 英語教室)

小学生の多読支援を始めてから今年で15年目となる。支援した小学生は高校生になる頃には英米のペーパーバックを日本語での読書と同様に楽しむようになる。中には大学受験を多読でする者もいる。“読める”生徒を育む上で大切にしていること、小学生の多読支援で配慮すべきこと、小学生の実践例、及び、実践から得た知見を紹介する。

13:00-13:35

「公立中学校1年生から3年生の授業で、できる多読授業とは」

山口朋久、岡本雅輝 (湖南省立甲西北中学校)

普通の公立中学校で、12月からひとつの授業で10分間を多読の時間にあて、受験期の3年生と入門期の1年生での多読授業の取り組みにおいての成果と課題を提案します。昨年までの成果で、学校図書館に新たに多読図書が導入もされました。様々な仕掛けを通して、多読効果を伝えられたらと思います。

13:40-14:15

「県立普通科高校での多読～10年を超えて～」

池田亜紀 (鳥取県立境高等学校)

鳥取県立境高等学校での実践報告です。公立学校では長続きしにくいと言われている『多読』。放課後の講習から始まった活動も今や授業となり10年を超えました。多読導入のきっかけから授業・生徒の様子、指導をして行く中で見えてきた課題など、具体的な指導内容を報告します。

14:30-15:05

「Managing Xreading in a Public High School」

Mary O'Sullivan (大阪府立北野高等学校)

In this presentation I will present about why we decided to implement a digital reading program in Kitano High School. I will demonstrate how I set up reading assignments, and what the outcomes are. I will also focus on various methods I use to motivate students.

15:10-15:45

「大阪女学院大学でのオンライン多読プログラムの実践紹介」

松尾徹 (大阪女学院大学)

この発表では大阪女学院において実施している Xreading を使用したオンライン多読プログラムについての実践・運営方法について紹介します。特に紙での多読とは異なるデジタル機器を介して行う多読プログラムを成功させるための教師の役割やオンライン多読特有の問題点も分かち合いたいと思います。